

補助対象者

郡市医師会・地区地域医療対策委員会

事業内容

《目標》

切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制を作る

市町村が行う「在宅医療・介護連携推進事業」の推進

1. 地域の在宅医療関係者を集めた検討会や勉強会の開催

在支診や在支病，訪問看護ステーション，後方支援を担う病院等を参集し，以下の内容等について検討する。

【検討例】

- ・夜間・休日対応
- ・学会出席時等の代行診療
- ・容体急変時の病床確保や運用ルール作り
- ・医療機関と訪問看護ステーション等多職種との連携

POINT

在宅医療・介護連携事業は，市町村主導のもと実施しており，地域により取組内容はさまざま。上記検討の場に行政職員（市町村や保健所）も参加し，共に検討を進めていく。

2. 具体的取組の実施

上記において検討した内容をもとに，以下のような取組を行う。

【取組例】

- ・主治医／副主治医制，医師と多職種のグループ化に関する調整
- ・後方支援を担う病院のバックアップ体制の確立
- ・訪問看護ステーションによるオンコール体制の確立

上限額

- **事業を担当する職員を配置するための経費**・・・・・・・・・・4,326千円
(給料，報酬，賃金，職員手当等，法定福利費)
- **検討会や勉強会の開催経費**・・・・・・・・・・1,000千円
(報償費，旅費，需用費，食糧費，役務費，使用料及び賃借料)
- **具体的取組の実施経費**・・・・・・・・・・2,500千円
(報償費，旅費，需用費，食糧費，役務費，使用料及び賃借料，備品購入費，委託料)

イメージ

事業者 [事業費：4,326千円]

〇〇地区××検討会 [事業費：1,000千円]



担当職員

開催



- ・在支診や在支病の医師
- ・訪問看護師
- ・後方支援を担う病院の医師・MSW
- ・介護福祉士や薬剤師，歯科医師等の他職種
etc・・・

参加

支援



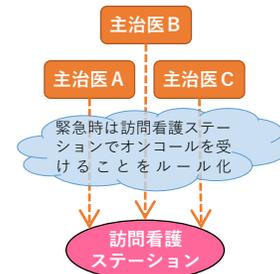
市町村・県(保健所)

検討内容例 [事業費：2,500千円]

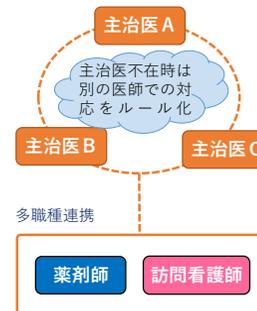
後方支援病院のバックアップ体制



訪問看護ステーションのオンコール体制



主治医／副主治医制多職種とのグループ化



備考

市町村の地域医療・介護連携事業との棲み分けや，地域の実情・ニーズを把握するため，事業開始に当たって，事前ヒアリングを実施予定。